

家族防災会議

～防災について家族で話し合おう～

日頃からの防災への取り組みが、被害の軽減につながります。2011年3月11日に発生した東日本大震災の教訓を忘れずに、災害に備えるとともに、発生時の避難行動や連絡方法などについて家族で確認しましょう。

☎防災危機管理課(☎826-1111 内線2009)

家族防災会議の手順

会議を開くときは、次に掲げる5つを順番に整理して話し合しましょう。平常時に行う準備や、実際に災害が発生した際にとるべき行動を家族で話し合い、災害に備えましょう。

①知る

災害にはどのようなものがあり、どういった被害が想定されるのか、正しい知識を得て備えましょう。

②確認する

ハザードマップや街歩きで、自宅周辺の危険箇所や、避難場所・避難経路などを確認しましょう。

③準備する

災害の種類や自宅周辺の災害危険度により、とるべき避難行動は異なります。必要に応じて十分に備えましょう。

④情報を入手する

災害の被害状況などの情報は、行動の判断材料となります。情報の入手方法について、家族で話し合しましょう。

⑤避難行動をとる

緊急時には、早めの避難が大切です。効果的な避難方法について、家族で検討しましょう。



ハザードマップ▶



次のポイントをおさえ、会議を開きましょう

役割分担を決めよう

緊急連絡係や非常用品持ち出し係も決めましょう。また、子どもの迎えや高齢者のサポートなど、各家庭の事情に合わせた役割を決めておきましょう。

避難場所や避難経路を確認しよう

ハザードマップなどで、避難場所や避難経路を確認しておきましょう。避難する場所は以下の2種類があります。その違いについても理解しましょう。

■指定避難所(備蓄品あり)

避難した方や、災害により家に戻れなくなった方が一定期間滞在するための施設です。市立の小中学校および旧小学校(旧斗利出小は除く)

■指定緊急避難場所(備蓄品なし)

災害発生時や発生の恐れがあるときに、一時的に身を守る場所です。地区公民館や高等学校など

※災害の種類や状況により、利用できる避難場所が異なる場合や開設できない場合があります。

防災用備蓄品の確認をしよう

非常食は火を使わず食べられ、日持ちのするものを中心に、最低3日分は準備しておきましょう。また、常備薬や赤ちゃん用の粉ミルクなど各家庭の事情に合った備蓄品を、緊急時に持ち出せる場所に備えておきましょう。

■飲料水

1人あたり1日3リットルが備蓄の目安です。

■非常用生活用品の例

- ・食器(紙皿など)
- ・カセットコンロ
- ・ライター・マッチ
- ・ラジオ
- ・懐中電灯・ランタン
- ・衣類
- ・軍手
- ・ソーラー式充電器
- ・医療品(お薬手帳)
- ・衛生用品(生理用品・マスク)
- ・現金(小銭を多めに)
- ・ビニール袋



緊急時の連絡方法を確認しよう

災害時は携帯電話が非常に繋がりにくくなります。家族が離ればなれになっているときに災害が発生した際の連絡方法を、あらかじめ決めておきましょう。回線が混み合っている場合でも使用できる「災害用伝言ダイヤル」の活用方法を確認しましょう。

■災害用伝言ダイヤルの使い方

- | | | | |
|----|-------------|----|-------------|
| 録音 | ①「171」にダイヤル | 再生 | ①「171」にダイヤル |
| | ②「1」(登録)を選ぶ | | ②「2」(再生)を選ぶ |
| | ③電話番号を登録 | | ③電話番号を入力 |
| | ④メッセージを録音 | | ④メッセージを再生 |

情報の入手方法の確認と準備をしよう

テレビ(NHKデータ放送)、ラジオ、市ホームページ、緊急速報エリアメールのほか、市では以下の方法で災害の情報を発信します。登録やアプリのダウンロードが必要なものもありますので、事前に確認しましょう。

■防災行政無線

市内215か所に設置した屋外スピーカーから災害の情報を放送します。放送内容が聞き取りにくい場合には、電話(☎0120-826113)で確認できます。

■ツイッター

市公式アカウント(@tsuchiura_city)で災害の情報をツイートします。利用には登録が必要です。

■安心・安全情報メール

災害の情報を、事前に登録したメールアドレスに配信します。



■ヤフー防災アプリ

スマートフォンにアプリをインストールすると、気象情報や災害情報を入手できます。



わが家の防災点検項目

地震や風水害への備えは、屋内・屋外の点検が重要です。下の項目を参考に、普段から準備をしておきましょう。また、風水害は天気予報の情報からあらかじめ避難行動の想定ができます。大雨や台風の時は、気象の情報に注意し、適切な避難行動を行いましょう。

■地震への備え

- ・家の耐震化を行っている(旧耐震の場合)
- ・ブロック塀の安全点検をしている
- ・ベランダに落下しそうなものを置いていない
- ・プロパンガスのボンベなどの転倒防止対策をしている
- ・窓ガラスに飛散防止フィルムを貼っている
- ・消火器を用意して、使い方を確認している
- ・家具や大型家電製品の転倒防止対策をしている
- ・家具の上に重いものや危険なものを置いていない
- ・カーテンは防災処理を施したものを使用している
- ・避難経路に家具や荷物を置いていない
- ・感震ブレーカーを設置している

■風水害への備え

- ・自宅が浸水想定区域内や土砂災害警戒区域内にあるか確認している
- ・屋根の点検や補修をしている
- ・屋外に風で飛ばされそうなものを置いていない
- ・雨どいの詰まりや雨戸のガタつきがない
- ・側溝を清掃し雨水の排水の流れを良くしている
- ・浸水の心配がある場合は、土のうを用意している
- ・洪水ハザードマップや土砂災害避難地図を見やすい場所に貼ってある

コロナ禍における災害時の感染症対策

避難にあたって

- ・自宅が安全である場合は、在宅避難を行う
- ・安全な親戚や知人宅を避難先にする
- ・在宅避難が困難なときは、自家用車やテントでの避難も検討する

避難所に行ったら

- ・マスクの着用、咳エチケット、こまめな手洗い
- ・避難所内での不要な移動を控える
- ・間隔を保ち、近距離での会話は最小限にする